

【専門分野】

科目		単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
※医療安全		1（30）	3	第1・2学期	①専任教員（20時間） ②医療安全係長（6時間） ③臨床工学技士（4時間）
目 標					
医療安全と倫理の基本的な知識を理解し、安全に看護を実践する能力や、看護者としての倫理観を身につける					
ディプロマポリシーとの関連：DP1、DP7、DP4の達成に寄与					
回	時間	授業内容		授業方法	担当
1	2	1. 医療安全推進の背景 2. 人間の特性とヒューマンエラー 3. 医療事故と過誤 1)看護事故 2)医療における危険要因 3)看護事故防止の考え方		講義	①
2	2	4. 倫理的判断 5. 我が国の安全管理対策		講義	①
3	2	6. 危険因子の判断と回避行動 1)KYT ①KYT グループワーク ・日常生活援助場面・診療の補助援助場面		講義 GW	①
4	2	②KYT シミュレーション		演習	①
5	1	2)事故分析 ①事故分析方法について		講義 演習	①
6	2	②SHELL分析を用いた事故事例の分析		演習	①
8	2	7. 医療安全シミュレーション①		演習	①
9	2	医療安全シミュレーション②		演習	①
7	2	8. 医療従事者の安全 1)抗がん剤曝露防止・放射線被爆防止・ラテックスアレルギー 2)患者からの暴言・暴力・セクハラ		講義	①
10	2	9. 医療事故の法的責任 刑事責任 民事責任 行政責任		講義	①
11	2	10. 組織としての医療安全対策 1)医療安全管理体制 2)医療安全管理室の役割と活動		講義	②
12	2	3)当院の医療事故の現状 4)事故防止対策の具体例		講義	②
13	2	11. 組織としての感染予防対策 1)院内感染予防対策 2)アウトブレイク時の対応 3)職業感染、針刺しの予防(フローチャートの活用)		講義	②
14	2	12. 医療機器について (輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器) 1)医療機器の安全管理		講義	③
15	2	2)医療機器の原理と使用の実際		演習	③
16	1	終講試験			①
授業形態		講義および演習			
評価方法 点数配分		筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト		医療安全 : 医学書院			
その他		※この科目は実務経験のある教員による授業時間がある科目である			

【専門分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者		
※看護管理	1 (15)	3	第1・2学期	① 副看護部長 (8時間) ② 病院管理者 (1時間) ③ 専任教員 (6時間)		
目 標						
1. 看護をマネジメントするための基礎的知識について学ぶ						
2. 医療チーム及び多職種との連携・協働の中で看護を実践するための基礎的知識について学ぶ						
ディプロマポリシーとの関連：DP7、DP1の達成に寄与						
回	時間	授業内容		授業方法	担当	課題
1	2	1. 看護におけるマネジメント 2. 看護ケアのマネジメント 1) 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 2) 患者の権利の尊重 3) チーム医療		講義	①	
2	2	4) 看護業務の実践 3. 看護職としてのセルフマネジメント		講義	①	
3	2	4. 看護サービスのマネジメント		講義	①	
4	2	5. マネジメントに必要な知識と技術 6. 看護を取り巻く諸制度 1) 看護職		講義	①	
5	1	2) 医療制度		講義	②	
6	2	7. チーム医療を必要とする対象の看護 1) 事例を通して考える看護の実際 (事例検討)		講義 演習	③	事例に基づいた 自己学習
7	2	2) 事例を通して考える看護の実際 (発表)		講義 演習	③	発表後の自己の 振り返り
8	1	3) 事例を通して考える看護の実際 (振り返り)		講義 演習	③	
9	1	終講試験			③	
授業形態	講義および演習					
評価方法 点数配分	筆記試験：80点、その他：20点 (講義内で説明) 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする					
テキスト	看護管理 : 医学書院					
その他	※この科目は実務経験のある教員による授業時間がある科目である					

【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
災害看護・国際看護	1（15）	3	第2学期	① 看護師（10時間） ② 非常勤講師（5時間）
目 標				
1. 災害時における医療・看護の役割と支援活動について学ぶ 2. 諸外国における保健・医療・福祉の基礎的知識について学ぶ				
ディプロマポリシーとの関連：DP7、DP4、DP6の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	担当
1	2	1. 災害医療と看護の役割 1) 災害の種類と特徴 2) 災害医療の特徴 3) 災害看護 ①各期の災害看護の特徴	講義	①
2	2	②各期における要援護者への看護 急性期、亜急性期、慢性期における要援護者への看護 被災者のニーズと看護者の対応 子ども、妊産婦、高齢者、障害者、精神障害者、慢性疾患患者、外国人等の要援護者への看護などの要援護者への看護	講義	①
3	2	災害時の支援活動の実際①（応急処置）	演習	①
4	2	災害時の支援活動の実際②（避難所や救護所の設営と運営）	講義 演習	①
5	2	災害時の支援活動の実際③（トリアージ）	演習	①
6	2	2. 国際協力 1) 世界の健康問題の現状 2) 医療・看護の国際協力とその仕組み 3) 国際医療・看護活動の展開	講義	②
7	2	3. 看護師としての国際協力 1) 諸外国の医療・看護の現状 2) 所外交との協力 3) 文化・宗教を考慮した看護 4) 外国人への看護	講義 演習	②
8	1	終講試験		②
授業形態	講義および演習			
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	災害看護学・国際看護学 : 医学書院			
その他				

【専門分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者
※看護実践演習	1 (30)	3	第1・2学期	専任教員
目 標				
複合的な事象において看護の知識と技術を統合し実践できる基礎的能力を養う				
ディプロマポリシーとの関連：DP4、DP5、DP3、DP7、DP2の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	課題
1	2	1. 事例の状況に応じた知識の統合と看護の実践 1) 呼吸困難を訴える事例を通して考える看護の実際 事例の情報収集と整理	講義	【事前】 間質性肺炎
2	2	事例を通して考える看護の実際 フィジカルイグザミネーション	講義	【事前】 看護計画立案
3	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応1：呼吸困難を訴える患者の清拭の実施	講義	【事後】 看護計画修正
4	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応3：臨床判断について（ロールプレイ）※シナリオ使用	講義 演習	【事後】 SBAR記載
5	2	2) 痛みを訴える事例を通して考える看護の実際 事例の情報収集と整理 看護計画立案 ～グループワーク～	講義	【事後】 看護計画立案
6	2	3) 複数事例に対する看護の実施：多重課題 ・日常業務のマネジメント ・看護問題の明確化 ・優先順位の判断	講義	
7	2	観察と対応1：痛みを訴える患者の援助の実施 ～発表～ （ロールプレイ）※シナリオ使用	講義 演習	【事後】 SBAR記載
8	2	複数事例への看護の実施：多重課題 ～発表～ （ロールプレイ）※シナリオ使用	講義 演習	
9	2	看護援助の評価 ～振り返り～	講義	
10	2	4) 発熱と倦怠感がある事例を通して考える看護の実際 事例の情報収集と整理	講義	【事前】 大腸がん
11	2	事例を通して考える看護の実際 フィジカルアセスメント	講義	【事前】フィジカル アセスメント
12	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応1：フィジカルアセスメント（ロールプレイ）※シナリオ使用	講義 演習	【事前】 技術練習
13	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応2：点滴をしている対象の離床の援助 （ロールプレイ）※シナリオ使用	講義 演習	【事前】 技術練習
14	2	事例を通して考える看護の実際 観察と対応3：SBAR	講義	【事前】 SBAR記載
15	1	技術試験（OSCE）		
16	1	終講試験		
授業形態	講義および演習			
評価方法 点数配分	筆記試験 60点 実技試験(OSCE) 40点 (筆記試験、実技試験それぞれの6割以上を合格とする) 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	呼吸器：医学書院 消化器：医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術：医学書院 看護がみえるVol.3 フィジカルアセスメント：メディックメディア 症状別看護過程、疾患別看護過程：医学書院			
その他	※この科目は実務経験のある教員による授業科目である			